

音楽学コロキウムへの改編——2022年度の実施状況

村瀬優花 愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士後期課程（音楽学分野）

1. はじめに

2022年12月の時点で、学内全体においてカリキュラム改革の準備が行われている。その先駆けとして音楽学コースでは、音楽学特講、音楽特講a・b、音楽教育論、音楽心理学の5科目が音楽学特講a～eに統合された。それにもない、昨年度まで開講されていた「音楽学研究総合ゼミ」が「音楽学コロキウム」に改編された。

音楽学コロキウムは、音楽学コースに所属するすべての学生と教員が集まり、それぞれが研究発表を行ったり、ゲストスピーカーをお招きして講義を受けたりする場である。学生にとって、自分の考えを発信し、新たな知識を得る重要な機会である。

今年度の音楽学コロキウムは、以下の内容で行われた。

2. 2022年度の音楽学コロキウム

■ 4月28日（木）

七條めぐみ先生（愛知県立芸術大学講師・音楽学）就任記念講演

「西洋音楽の『横のつながり』を考える

——バロック時代と近代東アジアを舞台として」

■ 5月12日（木）

図書館データベース講習会（EBSCO）

■ 6月9日（木）

図書館データベース講習会（紀伊國屋）

■ 6月23日（木）

博士前期課程2年生1名による研究発表

■ 7月28日（木）

小林英樹先生（愛知県立芸術大学名誉教授・油画）

より深く絵画作品を鑑賞する講座（1）

「『表現の根底にあるアイデンティティー』を考える：
セザンヌを中心にした印象派絵画」

■ 9月29日（木）

学部4年生4名による卒業論文中間発表

■ 10月6日（木）

博士前期課程2年生1名による修士論文中間発表

■ 11月24日（木）

小林英樹先生（愛知県立芸術大学名誉教授・油画）

より深く絵画作品を鑑賞する講座（2）

「『表現の根底にあるアイデンティティー』を考える：
セザンヌの後に展開するピカソとデュシャンの作品」

3. おわりに

今年度音楽学コースに就任された七條先生の講演に始まり、音楽学コロキウムは全8回開講された。

小林英樹先生をお招きし、「より深く絵画作品を鑑賞する講座」と題して、2回にわたって画家たちのアイデンティティーについてお話いただき、大いに刺激を受けた。学生による研究発表は3回行われ、「討論会」という意味を持つコロキウムの名の通り、毎回活発な意見交換がなされた。